

平成 2 1 事業年度

決 算 報 告 書

自 : 平成 2 1 年 4 月 1 日

至 : 平成 2 2 年 3 月 3 1 日

国立大学法人東北大学

平成21年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	49,643	49,643	-	
施設整備費補助金	5,827	7,869	2,042	(注1)
補助金等収入	4,299	9,887	5,589	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	141	141	-	
自己収入	38,876	44,221	5,345	
授業料、入学料及び検定料収入	10,285	10,317	32	(注3)
附属病院収入	24,611	28,810	4,200	(注4)
財産処分収入	-	28	28	
雑収入	3,981	5,066	1,086	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	21,387	21,372	15	(注6)
引当金取崩	-	156	156	
長期借入金	1,795	1,795	0	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	2,976	4,540	1,563	
計	124,945	139,625	14,679	
支出				
業務費	74,692	80,592	5,900	
教育研究経費	53,183	53,288	106	
診療経費	21,509	27,303	5,794	(注7)
一般管理費	12,035	16,167	4,132	(注8)
施設整備費	7,764	9,805	2,042	(注9)
補助金等	4,299	9,768	5,470	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	21,387	15,147	6,240	(注11)
長期借入金償還金	4,769	4,579	191	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	8	8	
計	124,945	136,065	11,120	
収入 - 支出	0	3,559	3,559	

予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、超精密格子定数測定用X線回折システム及び環境ゲル解析システム、脳磁計測システム、省エネ情報通信用ナノスケール装置製作・評価システム、高精度放射線治療システム、3次元マイクロストレス線実測システム、(片平・星陵)先端研究施設、耐震・IT再生により、予算額に比して決算額が2,609百万円多額となっています。また、基幹・環境整備事業、(青葉山)耐震対策事業、800MHz核磁気共鳴装置、ライフライン再生事業の繰越により、567百万円少額となっています。

(注2) 補助金等収入については、国際研究拠点形成促進事業費補助金、設備整備費補助金等の預り補助金の受入により、予算額に比して決算額が5,589百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者、在学者の増により、入学料収入、授業料収入が43百万円多額となっています。また、受験者数の減により、検定料収入が11百万円少額となっています。

(注4) 附属病院収入については、病床稼働率の向上及び患者数の増等により予算額に比して決算額が4,200百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、科研費等間接経費、預り補助金等間接経費の受入により、予算額に比して決算額が1,357百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、産学連携等研究収入において予算額に比して決算額が695百万円多額となっております。また寄附金収入においては、受入の減により、710百万円少額となっています。なお、前年度からの繰越分として3,686百万円を支出額に計上しています。

(注7) 診療経費については、病院収益の増加により、予算額に比して決算額が5,794百万円多額となっています。

(注8) 一般管理費については、補助金等間接経費の支出により、予算額に比して決算額が3,020百万円多額となっています。また青葉山新キャンパス整備事業の支出により、868百万円多額となっています。

(注9) 施設整備費については、(注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,042百万円多額となっています。

(注10) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が5,470百万円多額となっています。

(注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金等の繰り越し等により、予算額に比して決算額が6,240百万円少額となっています。